MICHAŁ KURTYKA

LONDON SPEAKER BUREAU

- **President, COP 24 of UNFCCC**
- **Secretary of State, Minister Of Climate And Environment of Poland**

Topics

- Environment
- Government
- Management

Michal Kurtyka は国務長官、COP24 議長国政府全権大使であり、訓練を受けた物理学者およびエンジニア、エコノミスト、国際交渉の専門家、エネルギー分野の専門家であり、ポーランドにおけるエレクトロモビリティの開発のための政府プログラムの作成者でもあります。

彼は名高いパリのエコール ポリテクニークを卒業し、ワシントン (DC) 近くの国立標準技術研究所の量子光学の分野で奨学金を取得しており、ノーベル物理学賞受賞者であるウィリアム D.フィリップス。在学中に経済学を専門とし、2014 年にノーベル経済学賞を受賞したジャン ティロール教授の指導の下、特に市場組織に関心を持っていました。国際経済学の分野では、ルーヴァン ラ ヌーヴ大学で学び、ワルシャワ経済大学で修士号を取得。彼はワルシャワ大学で博士論文を擁護しました。彼は、ワルシャワ大学、Collegium Civitas、現代ポーランドのオックスフォード プログラムで、変更管理、経済学、市場組織、および産業戦略の分野で講師を務めました。彼は、「Zarzadzanie zmiana. Od strategii do dzialania」[変化の管理.戦略から行動へ】。

専門家としてのキャリアは、欧州統合委員会事務局のジャン クラコフスキ大臣のチームで始まり、欧州連合との加盟交渉を担当し、そこで分析チームを率いて、エネルギーと輸送の分野を直接担当しました。

その後、多くのポーランド企業を近代化し、ヨーロッパおよび世界市場の課題への適応を支援しました。彼は、欧州労働大学およびダブリン財団の一部として、産業の変化およびグローバル化の課題に対する欧州産業の適応の分野における欧州協力の促進者でした。

ポーランドのエレクトロモビリティ開発のための政府プログラムの著者であり、2013 年から 2015 年にかけて執筆された本で、教授とともにコンセプトとして初めて説明されました「Leszek Jesien、「新しい電気と新しい車」。彼は、エレクトロモビリティ プログラムの運営委員会の議長を務めています。エネルギー副大臣として、彼は「エレクトロモビリティ開発計画」の創始者であり、その後、エレクトロモビリティと代替燃料に関する法律の作成を主導しました。これにより、輸送形態が動的に発展する可能性がもたらされます。

エネルギー省の国務長官として、技術開発とエネルギー部門への革新の導入、燃料およびガス部門における気候とエネルギー政策の実施、国家および国際機関との国際関係の実施に直接責任を負っています。彼の職務には、Orlen、Lotos、PGNiG など、石油およびガス部門におけるポーランド最大のエネルギー企業への州の参加を監督することも含まれます。彼は、冬のパッケージの条項、およびヨーロッパの電力市場を規制する法的行為について交渉しています。彼は、国際エネルギー機関でポーランドを代表しています。